

フォークト・小柳・原田病の治療のために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター眼科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

Predictive factors at 1 month after pulse steroid therapy for sunset glow fundus in Vogt-Koyanagi-Harada disease

フォークト・小柳・原田病における夕焼け状眼底を予測しうるステロイドパルス療法 1 か月後の因子

【研究の目的】

フォークト・小柳・原田病に対するステロイドパルス療法後に夕焼け状眼底を生じることがあります。夕焼け状眼底を生じると再発が起こりやすく注意が必要です。本研究では、夕焼け状眼底に対する予測因子を治療後 1 か月の検査所見から求めたいと考えています。

【対象となる方】

眼科にてフォークト・小柳・原田病の治療のために 2015 年 6 月から 2025 年 8 月の期間に眼科受診し、診療、検査を受けた方

【使用する診療情報】

使用する検体や診療情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

カルテ情報：診断名、年齢、性別、検査結果（初診時と治療後 1 か月の視力、網膜中心窩厚、中心角膜厚、治療後 12 か月での夕焼け状眼底の有無）

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日（2026 年 1 月 14 日）から 2026 年 9 月 30 日まで実施され、61 名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【データの保管】

この臨床研究によって得られたデータは、鍵やパスワードなどで保護し、第三者へ漏洩することがないように厳重保管され、研究の中止あるいは終了後 5 年または最終公表 3 年のいずれか遅い日まで保管されたのち、適切に廃棄されます。

【結果の公表】

この研究の研究成果は欧米雑誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 眼科 町田 繁樹（教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 眼科 担当者：武藤 哲也（非常勤講師）

電話番号：048-965-2686（医局直通）

受付時間帯：月曜から金曜 9時から17時 土曜 9時から14時

以上